

パンフレット (両親指導の手引き書) のすすめ



③4 ことばときこえのQ&A 「ぼ・と・こ」

紹介者 東京都世田谷区立九品仏小学校

ことばの教室担当 田嶋 恵美子 先生

新年度がスタートして、学校生活が軌道に乗り始めた5月半ば過ぎ頃に、私の勤務する「ことばの教室」には相談の電話がかかることがよくあります。そんなに大きな問題ではないと思われながらも子どもの学校生活に不安を感じられて、どこかに相談をしたいとお考えになる保護者の方が多いのです。

「ことばの教室って、どんなところなのかしら。」と、ドキドキしながら、電話の前に立たれ、お話をされているのだと思いながら「お子さんのどんなことが心配ですか。」と、お尋ねします。日頃気になっているお子さんについての不安や悩みのおおよそを具体的にお聞きし、相談の日取りを決めて電話を切ります。

そして相談の当日、お子さんの行動観察やことばの検査を行います。保護者からの成育歴の聞き取りも同時に行います。初めて相談をされるケースもありますが、子どもの成長を頼もしく見守りながらも、我が子のことばや発達について、ふとよぎる不安や悩みを、幼時期に小児科の先生や保健センターの健診時に相談をされたケースもとても多いのです。「様子を見ましょう。」と言われたことが多いのも特徴的なことと感じています。「ちょっと不安は和らぐけれど、解決はしていない。」そんな状況で就学をむかえ、あらためてお子さんのことばについての心配が再燃す

るという感じですよ。

そんな保護者の不安や悩みが何に起因するのか、そしてどうすればいいのかをわかりやすく「Q&A」形式にまとめたリーフレットが全国ことばを育む親の会から19年3月に刊行されました。それが「ことばときこえのQ&A ぼ・と・こ」です。

「ことばの心配」について代表的なものを5つあげ、心配の中身が整理できるようQ1で取り上げてあります。

1. 発音がはっきりしない
2. ことばがつかえる なかなかでない
3. 難聴のためことばがはっきりしない
4. ことば数が少ない うまくつながらない
5. 話しかけても答ええない 場にそぐわない話をする

この5つの項目を読み進めるうちに「そうそう そうなのよ!」「それで、どうすればいいのかしら」「ことばやきこえの教室ってどんなところ」「で、家では、どんなことに気をつけたらいいのかしら」と知りたいことが、次々に湧き上がってくると思います。

項目毎に「Q&A」になっていますので、順番に読み進めなくても、「今知りたいこと」から読むこともできますし、「難しい漢字のことばを読むのっておっくうなのよね」と思っている、見開き2ページで知りたい部分です。見開き2ページで知りたい部分です。「ことばの教室」に常備して、相談にお見えになった保護者の方々にお薦めしようと思います。

また、新しく「ことばの教室」「きこえの教室」の先生になられた方々にも、幼稚園や保育園、低学年の担任の先生方にも一読をお薦めしたい1冊です。

